

彙報

身延山大学仏教学部の平成二〇年一〇月一日から平成二二年九月三一日までの活動の一端を紹介します。

○教員消息

1. 新任用人事

講師 榎木 博之

2. 昇任その他

教授 田沼 朗〔仏教学部長〕

教授 中山 光勝〔図書館長〕

准教授 伊東 久実〔講師から准教授へ昇格〕

准教授 長又 高夫〔特任から専任へ身分変更〕

○研究業績・活動他

▽寺尾英智教授

〈学術論文等〉

〔法華町衆と「立正安国論」〕〔日蓮宗勸学院報〕一一号

〔新潟県本成寺所蔵の新出日蓮曼荼羅本尊について〕〔小松邦彰先生古稀記念論文集 日蓮教学の源流と展開〕

〔行学院日朝関係の聖教について〕〔印度学仏教学研究〕五七卷二号

〔日蓮聖人真蹟の護持と聖教殿の建設〕〔法華〕九五卷五・六号

〔中世日蓮宗における出家受戒について〕〔日本仏教学会年報〕七四号

〔天明大火後の本法寺復興に関する一資料―日道の墨書を有する法華経―〕〔平成二二年度京都本法寺宝物虫払い出展目録〕

「明治期における法華経の版本―日蓮宗大教院版について―」（『法華文化研究』三三三号）

《講演等》

- 「中世日蓮宗における出家授戒と葬送」平成二〇年度東北教区教学研修会（平成二〇年一〇月二二日、山形国際ホテル）
- 「五重塔の今昔―身延山学園同窓会駿河支部研修会（平成二〇年一月三〇日、フジホワイトホテル）
- 「日蓮聖人御真蹟『立正安国論』の姿形」日蓮宗神奈川県第二部布教師会勉強会（平成二二年三月九日、本覚寺）
- 「身延山五重塔の今昔」柳島法縁（平成二二年三月二五日、浅草・濱清瓢庵）
- 「日蓮聖人の法難と法難会」日蓮宗中央教学研修会（平成二二年七月二九日、日蓮宗宗務院）

▽福土慈稔教授

- 「日本三論宗と新羅仏教」（『印度学仏教学研究』五七巻一号）
- 「日本三論宗に於ける朝鮮仏教の影響について」（『宗教研究』八二巻四輯）

▽望月海慧教授

《編者》

Acta Tibetica et Buddhica 2, Department of Tibetan Studies, Faculty of Buddhism, Minobusan University, 2009.

《学術論文等》

- 「Dol po pa の『宝性論釈善説陽光論』について (三)」(『身延山大学仏教学部紀要』九)
- 「On the Commentary on the Ratnagotravibhāga by Dol po pa」(『印度学仏教学研究』五七巻一号)
- 「Dol po pa が言及する飲酒・肉食を禁止する経典」(『宗教研究』八二巻四輯)
- 「焼身供養は正しい仏教的行為か」(『日蓮仏教研究』三号)
- 「ラトナーカラシャーンティ」(『経集解説・宝明荘嚴論』和訳(五)) (『身延論叢』一四号)

「第十五回国際仏教学会報告」(「身延山大学東洋文化研究所所報」一三号)

▽望月真澄教授

〈學術論文等〉

「身延山信仰の地域的展開―甲斐国を中心に―」(「印度学仏教学研究」五七卷一号)

「富士山信仰と法華信仰」(「宗教研究」八二巻四輯)

「宗門史跡の護持顕彰について―車返霊場の事例―」(「小松邦彰先生古稀記念論文集 日蓮教学の源流と展開」)

「宗門史跡車返霊場関係史料紹介」(「身延論叢」一三号)

▽柳本伊左雄教授

〈海外研修〉

第一〇回ラオス世界遺産仏像修復プロジェクト(平成二十二年二月一七日～三月一日)

第一一回ラオス世界遺産仏像修復プロジェクト(平成二十二年九月一日～九月二一日)

▽長又高夫准教授

〈學術論文等〉

「中世初期の明法道について」(「身延山大学仏教学部紀要」第九号)

▽三輪是法准教授

〈學術論文等〉

「日蓮仏教と狐信仰」(伏見稻荷大社「朱」第五二号)

「戦後日本における日蓮思想の受容―戸田城聖の場合―」(「小松邦彰先生古稀記念論文集 日蓮教学の源流と展開」)

「研究ノート 牧口常三郎の倫理」〔「福神」一三号〕

《講演等》

「法華経を読む」第一回南米法華経講演会（平成二十二年一月一六日、ブラジル）

▽榎木博之講師

《学術論文等》

「主任介護支援専門員の継続研修の意義 ―スーパービジョンを構築していくために―」〔身延山大学仏教学部紀要〕九号〕

○平成二〇年度仏教学部卒業論文論題及び指導教員

石原光誠 「日蓮宗と稲荷」

望月真澄

太田 彬 「毘沙門天の制作について」

柳本伊左雄

大塚将孝 「夜叉鬼子母神像の制作」

柳本伊左雄

小野啓雅 「清正公信仰の成立と展開」

望月真澄

金森泰亮 「日持上人布教の足跡」

望月真澄

倉多忠介 「鬼子母神像の制作」

柳本伊左雄

栗田珠美 「女性と宗教―仏教を中心に―」

間宮啓壬

児玉常信 「日什門流の動向」

望月真澄

下田眞祥 「日蓮聖人の観心論と信心論―『観心本尊抄』を中心として―」

三輪是法

朱宮 慧 「『開目抄』における日蓮聖人の思想」

間宮啓壬

鈴木泰心 「山家山外論争と日本仏教」

福土慈稔

高尾友也 「大村法華について」

望月真澄

高橋慧修 「イエスという人―その行いと生き様―」

間宮啓壬

永井俊行 「身延山の伽藍の変遷」

引間弘通 「日蓮宗の妙見信仰について」

本間明日美 「patimokkha」に関する一考察」

宮坂葉子 「薬王菩薩の制作について」

山形夏子 「塑像の技法研究と制作」

山田本光 「西谷壇林と善学院日鏡上人」

大町智経 「江戸時代の日蓮宗僧侶における修学と生活」

桑名法見 「本妙日臨律師の研究」

鶴田貴久 「石原莞爾とその信仰について」

村口泰寛 「日蓮聖人の国家観」

山崎裕一 「日興門流の分裂について―鎌倉・室町上代を中心として―」

田平光聡 「宗教改革とその時代」

遠藤麻美香 「保育者と子どもをつなぐ「手遊び」」

太田善子 「大人と絵本」

佐治麻希 「平和教育のこころみ―読み語り活動を通じた私の発信―」

中澤直美 「日本人の老年観 エイジズムとその影響」

竹口浩子 「母親のライフスタイルと離乳食考」

望月真澄

望月真澄

池上要靖

柳本伊左雄

長澤市郎

望月真澄

寺尾英智

寺尾英智

寺尾英智

桑名貫正

桑名貫正

間宮啓壬

伊東久実

山田英美

山田英美

高橋一公

伊東久実